

2024-2025年度国際ロータリーのテーマ



2024-2025年度国際ロータリー第2690地区のスローガン

未来への架け橋をつくろう

2024-2025年度岡山北ロータリークラブのスローガン

仲間との経験を増やそう2024～2025年度 *Rotary Club of Okayama North*

Rotary 週報

**国際ロータリー第2690地区第10グループ
岡山北ロータリークラブ**事務所 / 〒700-0901 岡山市北区本町6-36 第一セントラルビル6階西F号室
TEL.(086) 222-9590 FAX.(086) 224-4288

E-mail : okayamakita@ok6rc.jp

http://okayama-kita-rc.jp/

例会会場 / 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

例会日 / 毎火曜日 12:30～13:30

理事・役員

2024.7～2025.6

会 長(理事)	高 橋 茂 樹
副会長(理事)	橋 田 本 郎
幹 事(理事)	牧 堀 孝 則
副幹事	安 原 人
会 計	吉 田 波
S.A.A.(理事)	
副S.A.A.	

会員増強・退会防止(理事)	中 山 賢太郎
広報(理事)	宮 井 宏 己
奉仕プロジェクト(理事)	永 山 雅 幸
ロータリー財団(理事)	馬 場 幸 宏
親睦活動	正 保 三 倫
プログラム	廣 野 治 也
直前会長	岸 本 景 達
次期会長	高 本 高 浩

モバイルサイトへのアクセスは
QRコードをご利用ください。
(岡山北RCホームページ)

きょうのプログラム

「会場移動夜間例会」

次回6月3日のプログラム

「一年を振り返って」

副 会 長	橋 田 歳 行	会 員
副 幹 事	堀 川 洋 子	会 員
S. A. A.	吉 田 穰 人	会 員
副S.A.A.	難 波 佳 那	会 員

6月のお祝い行事

会員誕生日：鴻上、牧本、松田、佐々木君

結婚記念日：木道、岸本、杉本君

前回5月20日の例会記録

出席の状況

会 員 数 53名 (出席免除者0名)

出席者数 30名

欠席者数 23名

出 席 率 56.60%

スケジュール

6月 ロータリー親睦活動月間

3日(火) 12:30～例会：退任挨拶①
13:40～第12回理事役員会
10日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
17日(火) 12:30～例会
24日(火) 12:30～例会：退任挨拶②

7月 母子の健康月間

1日(火) 18:00～第1回理事役員会
19:00～例会：旧ひな壇慰労&新入会員歓迎夜間例会
8日(火) 12:30～例会：就任挨拶①
15日(火) 12:30～例会：就任挨拶②
22日(火) 例会取消し (定款第7条第1節)
29日(火) 12:30～例会

本日のメニュー：夜間例会特別メニュー

今回のメニュー：ヘルシーランチ (洋食)

会長挨拶



本日は、先週の土曜日に国際交流センターで行われた、ロータリー青少年指導者養成プログラム【RYLA】についての報告をさせていただきます。

米山奨学生のヴァンさんと牧本幹事、そして私の3名で参加してきました。参加者の総勢は55名でした。ロータリアンが12名、インターアクトクラブから7名、社会人が12名、米山奨学生が7名、ローターアクトクラブから4名、RCC（ロータリー地域社会共同体）より7名、交換留学生等が4名、その他数名でした。

午前10時に開会し、基調講演は、佐藤直前RI理事より、「次世代の青少年の活躍に期待するロータリー」という演題でお話がありました。続いて、演題「テレビの現場から考えるリーダーシップ論」、キャリアコンサルタントの多賀公人（たが きみと）さんからお話があり、リーダーとリーダーシップの違い、リーダーの型の違いなどの話がありました。

昼は、美味しいお弁当をいただき、午後からはワークショップとディスカッションを多賀さんの進行でさせていただき、16時に終了となりました。

2960地区は2年目？で、昨年より今年は人数が集まり、四国4県などは合同で2泊3日のプログラムを実施したようです。会長、幹事、米山奨学生で参加しているクラブは岡山北だけでした。良い経験になりました。ありがとうございました。

次年度も、会長、幹事、そして奉仕プロジェクト委員長等が参加していただければ良いかなと思いました。

来週は、会場移動夜間例会になります。多くの皆さんの参加を楽しみにしています。

幹事報告

1. 5月17日（土）ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）に米山奨学生 チョウン ヒエン ヴァン様と高橋会長と牧本幹事が出席されました。
2. 5月18日（日）クラブ活性化ワークショップが開催され、高畠次期会長、砂田次期幹事、小野次期国際奉仕委員長、平野次期職業奉仕委員長が出席されました。
3. ハイライトよねやま Vol.302、他クラブ週報を回覧いたします。



出席報告



幹事報告

S. A. A.

高橋君：本日も例会出席ありがとうございます。

永山君：来週の夜間例会ですが、マスカットスタジアムでの阪神vsDNAで焼肉弁当を売るため欠席します。すみません。

来週末は表町、再来週は駅前店でイベントがあります。よろしくお願いします。

吉田君：25日日曜日に付き合いで生まれて初めてファジアーノの応援に行ってきます。私は大の野球ファンです！憂鬱ですがまたご報告させていただきます。



スマイル報告

次期地区クラブ活性化ワークショップの参加報告

次期会長 高畠 浩 会員



雑誌委員会

委員長 角南 真一 会員

「ロータリーの友5月号」の紹介
カンボジア国際奉仕事業の記事
が掲載されました。



ごみ箱寄贈から 地域の環境問題改善へ

岡山北RC

第2690地区・岡山県

当クラブは1月27日、カンボジア・コンボンスプー州の小学校と寺院へ、120Lサイズのごみ箱20個とごみ分別の標語を記した看板を寄贈。小学校での贈呈式には、約100人の児童、隣接する寺院の僧侶らが参列。先生や僧侶から「ごみ箱を活用して、環境問題に取り組む指導をしていきます」という力強い言葉をもらいました。今回で3回目となる当事業。昨年の寄贈先にも予告なく訪問しましたが、ごみはほとんどなく、成果を実感しています。

総社RC例会訪問

子クラブとの交流
をスタートした責任
者として、ご案内を
いただいた5月15日
の総社RCの例会に
牧本幹事と出席して
まいりました。



総社RC別府会長挨拶

当日は、児嶋堯太
郎直前会長の弟であり、宮崎県木城町の
社会福祉法人石井記念友愛社の理事長児
嶋草次郎氏の卓話をお聴きする機会をい
ただきました。児嶋ご兄弟は、児嶋虎次
郎氏の孫、児童福祉の父と言われる石井



児嶋草次郎氏

十次氏の曾孫にあた
り、友愛社の養護施
設の運営や子どもた
ちに対する愛情と教
育についての思いと
共に、国の施設より
家庭優先の原則で里
親への政策について、

児童養護施設の子どもの抱えている
課題・問題はそんなに単純ではないと
のお話をいただきました。岡山北西RCク
ラブからは7名の出席があり、交流を
図ることができましたが、少し寂しい思
いでした。

(廣野 記)

卓話

「瀬戸内海巡回診療事業について」



岡山県済生会事務局長兼瀬戸内海巡回診療事業

推進事務所長 森本尚俊様



講師の紹介
山本和秀会員

瀬戸内海巡回診療事業について ～岡山県済生会の地域貢献事業～



岡山県済生会
瀬戸内海巡回診療事業
推進事務所長 森本尚俊

済生丸 100 (2014年)

社会福祉法人 恩賜財団 済生会

SAISEIKAI



- 明治44(1911)年、明治天皇から賜った「恵まれない人々のために施業救済事業を起こすように」とのお言葉（済生勅語）とお手元金150万円を基に、桂太郎総理大臣により財団法人として設立された。
- 戦後は社会福祉法人となり、無料低額診療事業をはじめ各種社会福祉事業を推進している。
- 本部は東京にあり、全国40都道府県に支部がある、我が国最大の社会福祉法人である。
- 総裁 秋篠宮皇嗣殿下
- 理事長 炭谷 茂



岡山県済生会「安心と信頼」のネットワーク

SAISEIKAI

切れ目のない医療・保健・福祉の充実により、地域の皆様が安心して生活できる社会に貢献します。2028年に90周年を迎えます。



“無医島の人々に医療の光を” 済生丸の誕生

- ・当時、国は離島、山村等のへき地医療対策として、診療所の設置、巡回診療車等の機動力強化を盛り込んだ第二次計画を策定中。
- ・済生会創立50周年(昭和36年)で、創立の精神を生かす記念事業を決定。
 - ・山間へき地の無医地区の解消のための巡回診療班の活動
 - ・レントゲン自動車によるがん検診等の健診活動
 - ・巡回診療船「済生丸」による瀬戸内海島嶼での活動
- （故大和名譽院長(岡山県済生会)の提案)
- ・瀬戸内海巡回診療運営規約(昭和37年10月1日制定)
- ・済生会創立の精神を顕現するため、瀬戸内海の沿岸離島等の、医療に恵まれない地域を主な対象として普く巡回し、疾病の治療及び保健予防等を実現する(同規約第1条)

済生丸の概要

瀬戸内4県(岡山・広島・香川・愛媛)の有人島・84島のうち39島が高齢化率50%を超える無医島である。済生丸は「海をわたる病院」として、約60の島々を巡回し、医療に恵まれない島嶼部の人々の診療や検診を60年の長きにわたり行っている。これは国、県をはじめとする行政と済生会本部、4県済生会の尽力の結果である。

＜済生丸100＞

- ・総トン数 180トン・全長 33m
- ・最大搭載人員29名(船員5名、医療スタッフ12名他)

＜医療スタッフ＞

医師、薬剤師、保健師看護師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、MSW、事務職員等

- ・岡山済生会総合病院
- ・済生会松山病院
- ・済生会広島病院
- ・済生会今治病院
- ・済生会呉病院
- ・済生会今治第二病院
- ・香川県済生会病院
- ・済生会西条病院

済生丸の変遷



済生丸一世代(1962年)



改造一世代(1970年)



済生丸二世代(1975年)



済生丸三世代(1989年)



予 防 医 学

- ・済生丸の運航は、自治体や住民の要望を踏まえ、約10日間のサイクルで各県を回っている。
- ・各県の年間配船日数は80～90日で、多い島でも年に4、5回しか配船できないため、一時的な投薬や注射による一般診療には限界がある。

↓

【済生丸方式】

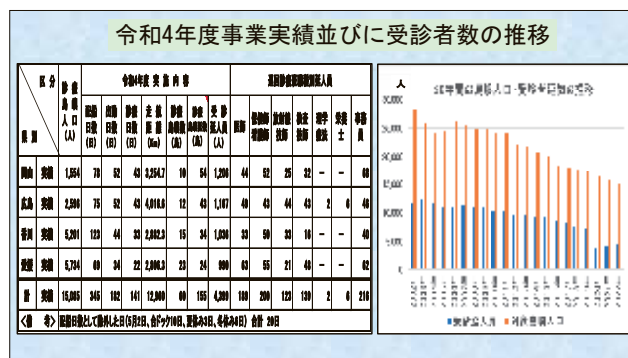
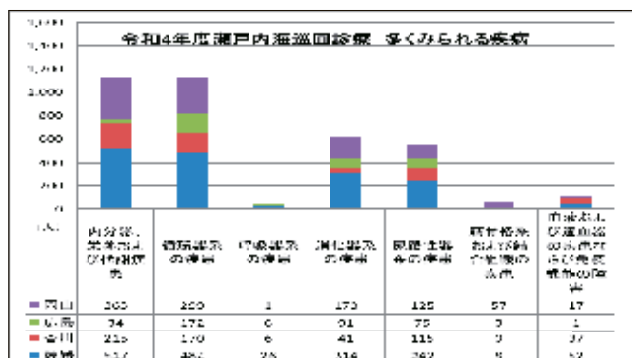
島の特性を考慮し、「自分の体は自分で守る」という予防医学を重視し、検査機器を生かした島民の健康管理と保健衛生教育により、疾病の予防や早期発見とそのフォローに重点を置いた診療や検査が行われている。

検診・診療

- ・検診
 - 肺・胃・乳がんレントゲン検査、基本健康診査（身体測定、血圧測定、検尿、心電図、血液検査）など
 - ・内科診療（一般診療）

済生丸による災害救援活動

「済生丸」は、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災の際に、いち早く駆けつけ、全国の済生会の医師、看護師等がチームを組んで41日間にわたり災害救援活動を行いました。



課 題

【受診側】

- ・島嶼人口の減少。島によっては受診者が数人である。
- ・島に橋が架かり、交通手段が確保されているところもある。
- ・高齢化により済生丸の停泊している港まで行けない島民もいる。

【診療側】

- ・運営赤字。4県済生会に補填している。
(1県当たり800～1000万円/年 ※診療人件費等は含まない)
- ・診療スタッフの確保が困難。
- ・10年後に済生丸5世の建造計画をするとすると多額の資金を要する。(済生丸100の建造費約6.6億円)
- ・老朽化によりレントゲン機器の更新(約8.6千万円)が必要。

クラウドファンディングのお願い

- ・島嶼部の高齢化、人口減少により、今後はニーズに合ったサービス提供方法を検討していく必要性や経費面での課題はありますが、済生会としては、離島の人々が安心して暮らせるように必要な医療を引き続き提供して行きたいと考えています。
- ・レントゲン機器更新に伴う多額の費用が必要となりますので、是非、皆様からのご支援をよろしくお願いいたします。

離島医療を守るため X線機器更新にご協力ください



瀬 戸内海には700余りの島が点在しています。国内唯一の診療船*「済生丸」が活動している岡山、広島、香川、愛媛県の有人島は84島あり、そのうち医療機関のある島は39島で、充実した医療を受けられる島はわずかです。*定期的に巡回診療を行う船

済生丸は、これまで半世紀を超える長きにわたり、瀬戸内海の約60の島々を巡回し、島嶼（とうしょ）部の方々の診療・検診を行い「海をわたる病院」として親しまれてきました。済生丸の診療で、命を救われた方も少なくありません。

しかし現在、診療に不可欠なX線機器の老朽化が進み、2025年12月までに更新しなければなりません。今回、機器更新を実現するためにクラウドファンディングに挑戦します。

離島の人々が安心して暮らせる医療環境を守りたい——。医療機器の更新とサービスの強化により、さらに多くの島民の方々に必要な医療を提供し続けるために、皆さまの温かいご支援をどうかよろしくお願いします。



海をわたる病院
済生丸
SAISEIMARU

ご寄付募集中

クラウドファンディング
目標金額 **3,000万円**

06/02 , **08/29**
09:00 23:00

お問い合わせはこちら

☎ 086-253-6071

✉ saiseimaru@okayamasaiseikai.or.jp

済生丸 レディーフォー



<https://readyfor.jp/projects/saiseimaru>

